



研究会だより

VOL.26 (2026年4月15日発刊)

再生医療×リハビリテーション研究会 事務局 です。

当研究会では、神経疾患、特に脳卒中や脊髄損傷に対する最新かつ革新的な治療法の開発と普及、また、皆様に有益な再生医療とリハビリテーションの情報を提供し、最新の研究成果を共有することを目指しています。

研究会員の皆様には、神経疾患の治療法を革新する可能性を共に探求し、その挑戦に参加していただきたく、情報と機会の提供に努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

研究会ご入会のご案内

当研究会は2023年に発足し、神経疾患、特に脳卒中や脊髄損傷に対する最新かつ革新的な治療法の開発と普及を目指しています。

私たちは、皆様に有益な再生医療とリハビリテーションの情報を提供し最新の研究成果を共有することを目指しています。

神経疾患の治療法を革新する可能性を共に探求しその挑戦に参加していただければ幸いです

研究会ホームページ
こちらよりどうぞ



研究会入会は研究会ホームページよりお申込み可能です。

オンライン学術集会 開催のご案内

本年より学術集会を開催いたします。皆様の経験を発表いただけませんか？

内容はどんな内容でも問題ありません。オンラインでの実施ですので、どこからでもご参加いただけます。

発表を検討されている人は是非ともご検討をお願いします。

開催日時：2026年7月13日（月） 18：30～

募集演題数：2演題（発表7分、質疑応答5分程度）

開催方法：zoom 費用：無料

発表をご検討の方は saisei.reha@jrxra.org（再生医療×リハビリテーション研究会事務局）までご連絡をお待ちしております。

川平名誉会長より再生医療とリハビリに関して

再生医療の併用療法を、より効果に！より強力に！

再生医療は美容から神経疾患などの多くの疾患に用いられています。慢性期の脳卒中や脊髄損傷など神経疾患に対する再生医療の効果を高める併用療法には原則があります。

- 1) 運動療法単独で科学的検証で有効である運動療法と無効な運動療法の組み合わせでは、効果的な併用療法とはなりません。
- 2) 幹細胞点滴単独よりも、特定の神経路の興奮水準を選択的に高める治療の併用は、感覚機能と運動機能の回復を促進します。
- 3) 習得したい運動を運動努力を伴う形での反復する治療は効果的です。

参考文献

- 1) 宮本明, 川平和美: 特集, 促通反復療法 (川平法). 脳卒中片麻痺 — 理学療法の歩みと最新の取り組み; 脳卒中片麻痺の回復・改善促通に寄与する治療や考え方. PTジャーナル 59 (6): 697-700, 2025
- 2) Hongyun Huang,, ET AO: Long-Term Outcome of Olfactory Ensheathing Cell Therapy for Patients With Complete Chronic Spinal Cord Injury. Cell Transplantation, 21, Supplement 1, pp. S23-S31, 2012

経鼻的間質細胞による周産期動脈性脳卒中治療：2年間の安全性および神経発達について。

Nienke Wagenaar: Perinatal Arterial Stroke Treated With Stromal Cells Intranasally: 2-Year Safety and Neurodevelopment. Stroke. 2025; 56: 2410-2418. DOI: 10.1161/STROKEAHA.125.050786

目的：

大きな障害を残す周産期動脈性脳梗塞児への臍帯血からの同種間葉系幹細胞（MSC）を鼻腔内に移植する治療の安全性、神経発達学的転帰を検討する。

方法：

PASSION群（N=10）の脳組織損失、有害事象、神経発達、組織損失率（新生児期および生後3ヶ月時点のMRIを評価）、MSC投与の安全性を検討した。更に、非MSC（N=39）のMRI所見と転帰を比較した。

結果：

3か月時点で、PASSION群は脳組織が予測よりも多く保存されていた。PASSION群は、非MSC群と比較して、3ヶ月時点の内側束後脚の非対称性（40%対81%; P=0.02）、脳脚の非対称性（10%対61%; P=0.01）が少なく、2歳時の運動機能は良好であった（P=0.003）。

結論：

周産期動脈性脳梗塞の乳児10例における経鼻MSC療法は長期安全性が実証され、非MSC治療群と比較して良好な運動予後を示した。

表1. 周産期の脳梗塞児でMSC治療を受けた群(10例)と非MSC非治療群(30例)のMRIの比較

	PASSION (N=10)	Registry (N=39)	P value*
Neonatal MRI			
Multiple ischemic lesions, n (%)	8 (80)	20 (51)	0.16
Stroke volume, % of total brain volume†	8.3 (7.8)	10.2 (16.6)	0.22
Follow-up MRI			
Age at MRI d	87 (11)	96 (14)	0.13
Perirolandic area, ‡ n (%)	5 (50)	33 (92)	0.007§
CST asymmetry, ‡ n (%)	5 (50)	30 (83)	0.04§
PLIC‡	4 (40)	29 (81)	0.02§
Cerebral peduncle‡	1 (10)	22 (61)	0.01§
Basal ganglia, ‡ n (%)	4 (40)	16 (44)	1.0
Thalamus, ‡ n (%)	3 (30)	20 (56)	0.28
Basal ganglia+thalamus, ‡ n (%)	2 (20)	15 (42)	0.28

推薦理由：鹿児島大学名誉教授 川平和美

周産期の脳梗塞は、脳性麻痺や運動障害を残す。発症時の経鼻MSC療法は良好な運動予後を示しており、今後の臨床導入が期待できる。

第3回学術総会開催のご案内

2023年より研究会をスタートし、3年目に突入いたしました。
今年も学術総会を開催させていただき、皆様に広く知見を広げていただければと思います。
詳細に関しましては決定次第随時ご連絡をさせていただきますので、お楽しみに！！

再生医療×リハビリテーション研究会 第3回学術総会
開催日時：2026年10月5日（月） 18：30～（予定）
特別講演：現在調整中